

平成17年6月30日

従業員各位

株式会社 徳 株式会社傳六

株式会社傳七 有限会社和公

代表取締役 鷲岡和徳

前略、梅雨に入りましたが暑い日が続いています。今月も業務に専心いただきありがとうございます。去る4月25日に起こったJR福知山線の脱線事故は皆様もニュース新聞等で詳細に報じられましたので、その概要は皆さんもよくご存知の事と思います。私はこの事故を通じて様々のことを感じ学びました。その中で一番私が強く引っかかったのは利益を優先させて従業員にプレッシャーを与える経営のあり方に対する批判が社員から早々に出てきた事で、またそれに対して会社はそのような報告を過去に従業員から受けてはいないと応じ、そこには死者百七名という大惨事を引き起こしたのは自分たちの会社であるという当事者意識が微塵も感じられない点であります。自分たちの責任を他に転じて回避し、どこか他人事のように感じたのは私だけではないと思います。JR西日本の利益優先主義を非難する論者もいましたが民間会社が利益を追求するのは当然の事であり、利益を上げない会社はむしろ罪悪であると思います。問題は利益の上げ方であり、そこで欠かせないのが理念というものであります。鉄道会社にとって一番、重く不可欠な理念とすべき「安全」が欠落していたと考えざるを得ないと思います。今回のJR西日本の脱線事故を他山の石として私たちの会社が貫徹し実行すべき理念とは何かを己自身に問いかける機会にしたいものであると思います。砕いて言えば私を含めこの会社で従事する従業員のすべての行動がお客様のためになっているのか、食生活に新たな価値を創造する一助になっているのかを弊社役職者は特に再度確認していただくことを希望します。

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に新たな価値を創造しつづけます。」
すべては自分のために。
すべてはお客様のために。
すべては会社のために。
すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう。

草々